

マトリックス履歴書から考える女性のキャリア と起業～イノベーションの視点から

平成28年6月19日

福島工業高等専門学校・宮城学院女子大学

西口 美津子 ・ 渡部 美紀子

世界的に高まるイノベーションへの要求

～Amazo.comに掲載されたイノベーションの本(日本語)の一例～

- ・ イノベーションと企業家精神
- ・ イノベーションのジレンマ―技術革新が巨大企業を減ぼすとき
- ・ オープン・イノベーションの教科書―社外の技術でビジネスをつくる実践ステップ
- ・ イノベーション・オブ・ライフ ハーバード・ビジネススクールを巣立つ君たちへ
- ・ もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『イノベーションと企業家精神』を読んだら
- ・ ビッグバン・イノベーション―一夜にして爆発的成長から衰退に転じる超破壊的変化から生き延びよ
- ・ ビジネスモデル・イノベーションに天才はいらない
- ・ イノベーションのDNA 破壊的イノベータの5つのスキル
- ・ イノベーションの本質
- ・ イノベーションへの解 利益ある成長に向けて
- ・ スタート・イノベーション! ―ビジネスイノベーションをはじめのための 実践ビジュアルガイド&思考ツールキット
- ・ イノベーションは「3+7の物語」で成功する
- ・ 日本のイノベーションのジレンマ
- ・ イノベーション・マネジメント: プロセス・組織の構造化から考える
- ・ イノベーション・マネジメント入門―マネジメント・テキスト
- ・ イノベーション 活性化のための方策
- ・ イノベーション体制をたった90日で構築する
- ・ イノベーション・ファシリテーター ― 3カ月で社会を変えるための思想と実践
- ・ リバース・イノベーション
- ・ 未来を構想し、現実を変えていく イノベーターシップ
- ・ 発想する会社! ― 世界最高のデザイン・ファームIDEOに学ぶイノベーションの技法
- ・ ビジネスモデル・イノベーション
- ・ イノベーションの最終解 (ハーバード・ビジネス・セレクト)
- ・ イノベーション5つの原則
- ・ 本気で変わりたい人の 行動イノベーション
- ・ イノベーション戦略の論理 - 確率の経営とは何か
- ・ 発想を事業化するイノベーション・ツールキット ― 機会の特定から実現性の証明まで
- ・ イノベーションの成功と失敗―戦前戦中から戦後に至る日本型イノベーションの真実
- ・ テクノロジーとイノベーション― 進化/生成の理論
- ・ コンテンツ産業とイノベーション
- ・ イノベーションは日々の仕事のなかにも―価値ある変化のしかけ方
- ・ ホンダ イノベーションの神髄
- ・ オープン・イノベーションのマネジメント – 高い経営成果を生む仕組みづくり
- ・ 医療イノベーションの本質―破壊的創造の処方箋
- ・ イノベーションの普及
- ・ Fintechとは何か―金融サービスの民主化をもたらすイノベーション

イノベーションとは何か？

- イノベーションは、「新しい技術・製品の導入」、「生産方式の導入」、「新市場の創造」、「新しい原材料や半製品の獲得」、「新組織の創造」。これらの**絶えざる新たな組み合わせ**がイノベーションを生み出す。(シュンペーター)
- イノベーションとは、世の中を一変させるような大きな革新だけではなく**市場に新しい顧客価値をもたらすこと**(SRI社長カーティス・カールソン)
- イノベティブな製品を開発した成功した**既存企業は**、その製品の顧客ニーズを十分に汲み取ろうとするがゆえに、**持続的イノベーションに終始し**、破壊的イノベーションによる新しい製品が現れたときに対応できず、**やがて市場から駆逐される**。(「イノベーションのジレンマ」ハーバード大学クリステンセン)

アメリカの国家戦略・・・日本より10年以上先行

	「イノベート・アメリカ」 競争力評議会 (2004年12月)	「強まる嵐を越える」 全米アカデミーズ (2005年10月)	「米国競争カイニシアティブ」 大統領府 (2006年2月)
教育人材	<ul style="list-style-type: none"> •「国家イノベーション教育戦略」策定 •次世代イノベーターの触発 •世界経済で成功する功労者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> •年間1万人の科学・数学教師採用 •夏期講座を通じた訓練等による教員25万人の技能強化 •大学学位取得等を目指す生徒の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> •初等中等教育における理数教育強化 •職業訓練の強化 •有能な研究者へのビザ発給増
研究開発	<ul style="list-style-type: none"> •先端的・学際的研究領域の再活性化 •起業家を生む環境の活性化 •リスクを厭(いと)わない長期的投資の強化 	<ul style="list-style-type: none"> •長期的基礎研究に対する連邦予算の毎年10パーセント増加 •有能な若手研究者に対する研究助成 •「全米先端研究装置・施設整備局」設立 •「大統領イノベーション賞」の設立 	<ul style="list-style-type: none"> •NSF・DOE・NIST等の自然科学分野研究予算を10年間で倍増
社会インフラ	<ul style="list-style-type: none"> •イノベーション成長戦略に対するコンセンサスづくり •21世紀の知的財産戦略体制の構築 •米国の製造業の能力強化 •健康産業を試金石とした21世紀イノベーション基盤の構築 	<ul style="list-style-type: none"> •新興の知識経済の基盤となる特許制度の構築 •研究開発に対する強力な税控除の立法化 •米国を本拠地とするイノベーションのための税制優遇措置 •ユビキタスブロードバンドアクセス 	<ul style="list-style-type: none"> •イノベーション環境の整備 •研究開発費の減税 •効率的な知的財産保護

1970年代の女性の变化～byドラッカー

(中略)すでに女性が専門職や経営管理者として認められていた百貨店、広告代理店、雑誌社、出版社は、**変化に気づかなかった**。今日、それらの企業では、30年前や40年前よりも女性の専門職や経営管理者が減っているくらいである。

これに対し、シティバンクは極端な男性社会だった。**変化を認識できたのも、そのためだったのかもしれない**。シティバンクは、この**女性の意識の変化**を機会としてとらえ、とりわけ野心的な有能な女性を雇い入れて、活躍させることに成功した。しかもシティバンクは、キャリアウーマンの昔からの就職先だった企業と**競争することなしに、彼女たちを雇うことができた**。

出典)P.F.ドラッカー「イノベーションと起業家精神(上)、p.162、1997年10月、ダイヤモンド社

⇒ **あるものの弱み、ないものの強み**

⇒ **男女の競争ではなく、棲み分けの必要性**

戦後、成功した女性起業家の時系列

年代	時代の特色	女性起業家(企業名)
1960年代	受験戦争	田部井昌子(関塾)
	高度経済成長	森 英恵(デザイナー)* **
1970年代	学生運動	今野 由梨(ダイヤルサービス)
		篠原 欣子(テンプスタッフ)**
1980年代	パソコン隆盛	浮川 初子(ジャストシステム)*
	男女雇用均等法	寺田千代乃(アート引越センター)*
		奥谷 禮子(ザ・アール)**
1990年代	バブル崩壊	元谷 芙美子(アパホテル)*
2000年代	ネットの発展	南場 智子(DeNA)**
2010年代	格差の時代	?

注)経団連、経済同友会幹事を中心に西口が選択

・成功した女性起業家の場合、配偶者が、ビジネスのパートナーを果たす場合が多く(*印)、留学等、若い頃に海外との接触があった場合(**印)が多い。

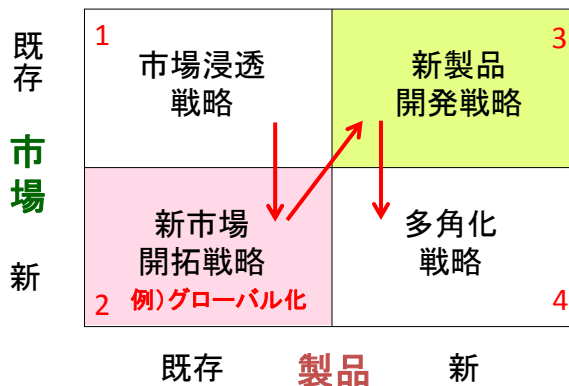
南場智子氏のマトリックス履歴書

0～14歳	15～17歳 (県立新潟高校)	18～23歳 (津田塾大学英文科)	24～37歳 (マッキンゼー日本支社勤務)	38～47歳 (DeNA創業から社長 退任まで)	48～52歳(現在) (DeNA本格復帰から 現在まで)
厳しい父親と優しい母親の下、父の顔色をうかがう子供時代を過ごす	一口飲んだ飲酒で停学になるが、父親は正直さを評価	女子寮に入り、父の庇護から逃れる	コンサルティングで芽が出ず、逃避として海外への留学を考える	元同僚で理解ある夫の下で自らに厳しいハードワーカー	夫の健康を考慮し、都心から空気の良い郊外に転居
	自らの意思で東京の大学を希望	学内推薦でアメリカのプリンマー大学に1年間留学	ハーバード大学MBAに留学	コンサルティングに飽きたらず、起業を決意	DeNAベイスターズ(球団)のオーナーとなる(女性初のオーナー)
		津田塾の先輩の勤めるコンサルティング会社：マッキンゼーを知る	マッキンゼーの恩人からプロジェクトへの参加を求められ、自分の為よりも皆のために働く	マッキンゼー時代のネットワークを生かし、若く優秀な若者達を集めDeNAを起業	夫の病気により社長の職を辞すが、夫の完治と共に仕事に復帰
			コンサルティング会社で目覚ましい業績を上げる	オークションサイトを苦しみながら立上げ、ゲームサイト等次々にヒットする	会社の売上が倍増し海外法人を立ち上げる等、グローバルに展開
				社長として会社の拡大をけん引	DeNA取締役として、遺伝子(DNA)検査ビジネスを率いる
					社会で活躍する女性起業家として各種委員を引き受ける(社会的な活躍)

海外の大学や企業で学ぶ！

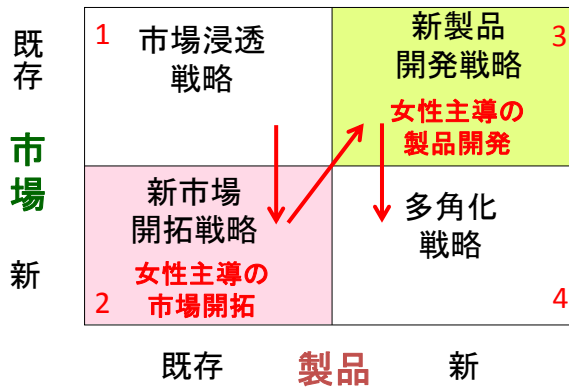
出所) 南場智子：不格好経営、日本経済新聞出版社、2013年等により西口編集

アンゾフの成長ベクトル ～一般的な製造業の場合～



・一般的な製造業では、市場浸透⇒新市場開拓⇒新製品開発⇒多角化というプロセスを辿るのが一般的である。

アンゾフの成長ベクトル ～女性の主導の市場開拓の必要性～



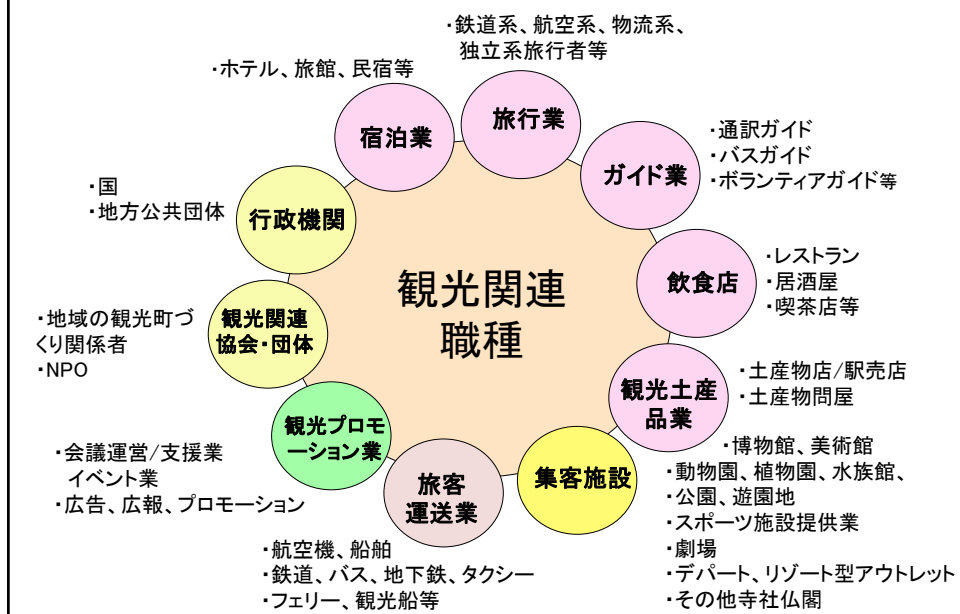
- 現在、消費者である女性を意識した女性主導の製品開発が一部で始まっている。しかし、女性主導の市場開拓(例:グローバル化対応等)が、果たして十分に行われているのだろうか？

9

日本にとって、女性の活用自体が イノベーション！

- 女性は、男性と異なり、流通・小売、飲食、サービス等、非製造業の起業が多い。
- シュンペーターは、「技術・製品」、「生産方式」、「原材料・半製品」、「新市場」や「新組織」の新たな結合がイノベーションを起こすことを示唆している。
- たとえば、近年、爆買や2020年のオリンピックで注目される日本への観光客の誘致、即ちインバウンド観光は、女性の活躍の場が大きいのではないだろうか？

インバウンド観光における就業分野



インバウンド観光における女性の起業の可能性

- ・ 旅行業(海外旅行業者との協業、民泊手配業)
- ・ 宿泊業(ホテル、旅館、民宿)
- ・ 飲食店
- ・ ガイド業(通訳ガイド、バスガイド、ボランティア等)
- ・ 観光土産品業
- ・ 観光プロモーション業
- ・ 旅客運送業(富裕層、高齢者、障害者等)
- ・ 上記を組合わせたもの
- ・ その他

女性のグローバル化を進めるには？

(例)

- 学生時代のインターンシップの拡大
 - トビタテJapan!
 - 国際交流プログラムの拡張
- 外国人女性の活用
 - 語学教育の充実
- 通訳ガイドの積極的な養成
 - 主婦をターゲットにした通訳養成講座の開講
 - 地域限定ガイドの拡張
- シニアボランティア等への女性の積極導入
 - 主婦経験を考慮したシニアボランティアの海外派遣
- 女性の海外要員としての活用
 - 女性外交官の増加
 - 女性駐在員の増大

今後の日本

- **かつて**日本は、「天然資源が少ない。だが、**人的資源は豊富**。だから、**優秀な人材を活用**し海外から資源を輸入し、**製品**を輸出しよう！」
- **今後の**日本は、「天然資源が少ない。だが、**観光資源は豊富**。だから、**社会に出ることの少なかった女性を積極的に活用**し海外から外国人観光客（特に女性や子ども）を誘致し、**思い出と好感度**を輸出しよう！」

ご清聴ありがとうございました。